

## 大飯原発は新基準にも適合していません

規制委員会は、大飯原発3・4号の評価会合で、  
「3連動を基本にして基準地震動を決める」と言っていました。  
下記の発言は一体どうなったのですか？

2013.7.2 グリーン・アクション／美浜の会 （下線は引用者）

◆4月19日 第1回大飯評価会合 議事録 15～16頁

[http://www.nsr.go.jp/committee/yuushikisya/ooi\\_genjyou/data/20130419-ooi.pdf](http://www.nsr.go.jp/committee/yuushikisya/ooi_genjyou/data/20130419-ooi.pdf)

○関西電力（大塚）我々もこれらの観点について、できるだけ真摯に説明をしまいたいと思っておりますし、1点目のFO-A、FO-Bと熊川の連動につきましても、先ほどの概要の7ページ目のところで、今後提出する評価の中で、6月予定のところの一番上に「熊川断層の評価」といった、今後追加して報告する項目もございますので、それらの評価結果もあわせて、しっかりと説明してまいりたいというふうに考えております。

○島崎委員 連動の問題が、多分、非常に重要な問題だと認識しております。実際、結果がどういふふうになるかわかりませんので、軽々なことは申し上げられませんが、6月の熊川を待ってということでは到底間に合わないと思いますので、まず3連動のほうを先にやっていただくことをお願いしたいと思っております。

○関西電力（白井）地震・津波を取りまとめております関西電力の白井と申します。先ほどの3連動に関しましては、6月に報告を差し上げるというのは、熊川断層のいわゆる東側の止めの部分がどこであるかというのを詳細に確認していくということでございます。西側ですね。東側よりも少し入っていきまして、西側の止めの位置を確認するということ、その辺りの結果を報告するということでございますので、小浜湾の中の状況につきましては、順次、我々も検討してございますので、並行して御説明を差し上げながら、最終的に6月の調査結果も踏まえて御報告を差し上げるという形で考えてございます。

○島崎委員 ちょっと認識が食い違っているとあれなんですけれども、要するに、3連動ということに関しては、既に評価の事前会合でも申し上げておりますし、最近そういった報告等も出ておりまして御存じだと思っておりますけれども、熊川断層の西がどこであろうと、3連動するということをまず考えて、どのくらい基準地震動が変わるかということを見てもおかないと、今の700Galで話が進んでいって、後から実はそうでなかったということであると大変な後戻りになる、作業全体が非常に問題を生じますので、ぜひそこを最初に確かめていただきたいと申し上げている次第です。

○関西電力（原口）関西電力の原口と申します。熊川断層の調査の話でございますけれど

も、熊川断層の調査は昨週やっておりますので、その結果については、今、6月を目途にはしておりますが、極力早く提出していきたいと思っております。

それから、3連動の地震動の評価についても、これはストレステストのときに一度念のための地震動評価というものをお出ししておりますけれども、その当時の経緯も含めまして、こちらのほうについても説明を速やかにしていきたいというふうに思っております。

○島崎委員 ストレステストの経緯を御説明いただくのはよろしいんですけども、「を含めて」というところが重要でございます、結局、念のための計算しかしていないわけでありまして、念のためではない、3連動があるということを前提とした計算をまずお願いしたいということですので、多分おわかりだと思いますけれども、確認させていただきました。

○更田委員 速記録等々を残しますので、回答していただかないと、うなずいていただくではちょっとあれなものですから。

○関西電力（原口） はい、了解いたしました。

◆5月10日 第4回 大飯評価会合 21頁

○島崎委員 ありがとうございます。

原子力規制庁及びJNESからの説明にあるとおり、今回行う評価では、活断層の連動性については、Fo-A～Fo-Bに加え、熊川断層の三つの断層の連動を考慮した評価を早期に行っていただく必要があると考えております。

また、地震伝播特性を適切に把握するための追加情報についても早急に御提示いただく必要があります。

.....

同上 議事録 56～57頁

○関西電力（岡崎） まず、発生層の検討をしているところですので、3-1の資料の6ページからです。

これは、先ほど申し上げたように、三社共同でやったものですから、ここでお示しているのが、敦賀半島の、これが、一番大きいので言いますと約5km、6kmぐらいのアレーの観測を使って、深いところの速度構造を最初に決めています。その結果が7ページであり、あと、その感度のチェックをしたのが8ページ。

まず、一応、それを大飯発電所の検討にも使っているということです。

<引用者注：関電は大飯の地盤・地質の詳しい調査をしていないため。敦賀半島のもんじゅの地盤・地質の資料を、大飯の検討に使っている。三社共同とは、若狭に原発をもっている。関電、日本原電（敦賀原発）、原子力研究開発機構（もんじゅ）のこと>

○島崎委員 はっきり言うと、違う場所の結果を持ってきて、大飯だとしていると、そうい

うことですね。これは非常に問題だと思います。

敦賀と大飯が同じ構造になっているかどうかというのは誰も知らないですよ。これは、きっちりその場所で調査していただかないと。しかも、地震発生層がどこまで来るかという  
ことは、断層モデルにもきいてくるわけですよ。

◆5月20日 第6回 大飯評価会合 議事録 3頁

[http://www.nsr.go.jp/committee/yuushikisya/ooi\\_genjyou/data/20130520-ooi.pdf](http://www.nsr.go.jp/committee/yuushikisya/ooi_genjyou/data/20130520-ooi.pdf)

○島崎委員 ありがとうございます。

資料に不備などありましたら、規制庁の職員へお申しつけください。

それでは、議事に入ります。

地震に関して、5月10日に開催した第4回評価会合では、サイト敷地の地下構造に関する議論と活断層の連動性、すなわち敷地周辺の熊川断層と F0-A、F0-B 断層との連動性について議論しました。その際、地下構造と活断層の連動性について当方からコメントや意見を述べましたので、本日は、それらに対する関西電力としての対応方針、対応状況及び今後の対応スケジュール等について御説明いただきたいと思います。

なお、当方としては、今回の評価は限られた期間に行う必要があることから、今回の評価に用いる基準地震動は、より安全側に立った上でできるだけ早く確定し建物や設備の評価に入る必要がありますので、その点を十分御理解いただいて対応をお願いしたいと思います。

.....

同議事録 10頁

○島崎委員 断層の構造を明らかにするということでしたけども、前回のコメントで、既に万一ということで3連動の計算をされているんですけども、万一ではなく、3連動が起こるのだと思って評価をしていただきたいということをお申し上げておりますけれども、そのことと断層の構造を明らかにするのは直接結びつかないように思うのですが、なぜそれに対するお答えがないのでしょうか。

○関西電力(原口) 3連動を考慮した場合の地震動評価と、それから施設の評価につきましては、これは前回の評価会合で御説明を、施設のほうはちょっと時間の関係もあって十分にはしていなかったかもわかりませんが、説明をさせていただいたかと思ってごめします。その中でいただきました地震動評価に関するコメントについても、これは5ページのほうが中心かと思いますが、そういった形でさらに地震動評価のほうも検討を加えていくつもりでございます。

○島崎委員 申し上げていることは、この間のケースは万一として行ったというふうに伺っていますので、3連動を基本として評価をしていただきたいというのが、こちら側のお願いというか、要請でございます。